

平成28年度第2回港区区政会議に関する意見

番号	意見内容	担当部会等	港区の考え方
1	区民の意見を反映する区政運営を横系とし、「地域活動協議会」を中心とした自律的な地域活動を縦系として横系と縦系が交わる強いネットワークでまちづくりを目指してください。	全体会	区政会議などで区民の皆さんからいただいたご意見を把握し、区の施策やサービスに反映した区政運営を「横系」とし、地域活動協議会を主体とした各地域の自律的な地域活動を「縦系」とし、「横系」「縦系」が交わる強いネットワークで、安全で安心に暮らせるまちづくりを進め、区民の皆さんとともに「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区」をめざします。
2	28年度～31年度4年間一時にまとめることなくせめて年2回あて諸修正していく方がよいのではないかと。	全体会	今年7月に、パブリックコメントや区政会議でのご意見もいただきながら「港区まちづくりビジョン」を策定し、あわせて、防災、防犯、福祉の3分野についても、港区の特性を踏まえた基本計画を策定しました。 「港区まちづくりビジョン」並びに3計画については、今後(平成31年度末までに)港区がめざすべき方向性を記したものです。 具体的な取組の内容や目標値については「港区まちづくりビジョン」や3計画の基本方針を踏まえ、毎年度「港区運営方針」を策定しています。その策定にあたっては、区政会議でもご意見をいただき、各取組ごとに効果を検証し、見直しを行っています。
3	予算額について、表記されてもピンとこず、前年度の比較ない。 プラスもしくはマイナス表記していただくと助かります。 (例)「予算額27,189千円」 1,214千円	全体会	ご指摘いただいたとおり、前年度予算と比較した増減表を作成し配布させていただきます。
4	全体会議の中で他の部会の発言がしにくい。又、把握しがたいとの意見ですが、反対に発言している人は、興味関心のあつ方。その意見もサポートして下さい。	全体会	できる限り多くの委員の方から意見をいただけるように工夫し、いただいた意見の施策や事業への反映に努めます。
5	以前ある委員の方が会議の内容を地域に持って帰っても取り上げてもらえなかったとのことでした。	全体会	「区政会議」は、区長の所管に属する施策及び事業について、立案段階から区民の皆さんのご意見を把握し適宜これを反映させるとともに、その実績及び成果についての評価や意見をいただくことを目的として開催する会議です。

番号	意見内容	担当部会等	港区の考え方
6	<p>地域コミュニティビジネス化等の支援について 地域の予算なり、支給額が減額されている中、財源確保は必須事項と思われます。 取組について、セミナーで終わらず、具体的な他地域での活動の紹介や指導の取組などを増やしてはどうでしょう。みなさん、どうしていいのかわかっているのかわからないのが現実だと思われます。</p>	<p>全体会</p>	<p>コミュニティビジネスについては、各地域における自主財源の確保の観点から、その必要性は認識しています。 区役所としてもセミナー形式だけでなく地域が実際行っている事例を発表していただくことでコミュニティビジネスに関する地域間の認識の共有を図ったり、ビジネス的手法の着手に係る資金調達に役立つ企業助成金などの申請方法を紹介する機会を提供しています。 今後も、まちづくりセンターも活用しながら自主財源の確保の取組みに向けた支援を継続します。</p>
7	<p>マンションなどが増えてきて地域のコミュニティの関係が希薄になっている。子ども達があいさつ運動しているが、無視する子どももあり、人の出入りが激しくなればより多くなる。「地域の子どもは地域で守り育てる」という意識、地域外は知らぬでは啓発が重要。</p>	<p>全体会</p>	<p>港区では、区民主体のまちづくりに向けて、小学校区を単位として、各種地域団体や企業、NPOなど多様な活動主体で組織された地域活動協議会を中心とした主体的な地域活動を促進しています。 地域活動協議会は、防犯・防災、子ども・青少年、福祉、健康、環境、文化・スポーツなど広く地域のまちづくり全般を活動対象として、コミュニティづくりに取り組んでいます。 当区としても、地域活動協議会の取組みを区の広報紙やホームページ等で紹介しています。</p>
8	<p>人権問題に対する取り組み 人権問題に対する取り組みが無いような気がします。例えば発達障害の手法などはあるのに、これも意識改革が必要な分野と思われます。部落差別の少ない地域でするので手薄になっているのでは？障がい差別、老人差別、病人差別、LGBT差別など取り組むべき人権問題は多様にあるのではないのでしょうか…</p>	<p>全体会</p>	<p>人権問題については、講演会やセミナー等を実施するとともに、広報紙への啓発記事の掲載、人権啓発だより「ヒューマンハート」の発行など、人権意識の普及・啓発に努めています。 ご指摘の課題の分野で、今年度既に実施もしくは実施が現時点で確定している講演会等は、発達障がいについて「経験者が語る 家庭できる支援」(5月)、「LDとディスレクシアへのこどもへの理解と支援の現状」(7月)、「知り♡添う～発達障がいを知り・寄り添う～」(12月予定)、障がい者について「障害者差別解消法と障がい者の人権」(11月予定)、高齢者の課題として「知っておきたい認知症のキホン」、LGBTについて「LGBT×アライ交流会」(7月)があります。なお、LGBTに関しては、昨年度から「レインボーカフェ3710(みなと)」というLGBT当事者とそのアライ(協働パートナー)の集まりを毎月1回開催し、違いを認め合い個性と能力が発揮できる社会の実現に向けて区民まつりでのLGBT問題のブースを開設するなど活動を行っています。 また、毎年12月の人権週間には、浪速・西・港・大正の4区合同で「人権展」等の啓発事業に取り組んでいます。 今後とも、人権課題についての取組みを進めていきます。</p>

番号	意見内容	担当部会等	港区の考え方
9	<p>商工業者のビジネス機会の提供について 企業同士のマッチングにプラスして、コミュニティビジネスとのマッチングの後押しもしてもらいたいものです。 また、照会だけでなく、異業種交流会を開いてもらえれば、事業者としてうれしいハズです。</p>	全体会	<p>企業・地域・NPO・行政などが連携・協働することで、地域活動の担い手のすそ野を広げ、それぞれの強みを活かしながら、マルチパートナーシップによるまちづくりを進めることが重要であると考えています。企業の持つ人材やノウハウを地域活動に活かしていただけるよう、企業と地域の関わり方や地域が企業に求めていることなどについて、意見交換や情報交換を行い、企業間交流を深めていただく「企業まちづくり交流会」の開催や近隣区の企業の参加によるネットワークの拡大や相互交流を目的とする「企業プレゼンテーション交流会」を大阪商工会議所西支部と連携して実施しています。</p> <p>また、新たな連携協働の機会を創出するとともに、多様な人材による活動を促進するため、資金調達の手法として今注目を集めているクラウドファンディングセミナーを開催しています。</p>
10	<p>港区は交通の便が良くマンションも増えてきましたが、商店街のイベントにしてもほとんど一過性にすぎず、後の消費につながらずなかなかビジネスにならぬ</p>	全体会	<p>港区の伝統や歴史的、地理的魅力などを広く周知するため、商店、企業等の事業者に加え住民やNPOなど様々な主体が連携協働して取り組みながら港区の魅力の発掘を行い、多くの区民等に長く愛される魅力的な商品を開発する「みなトクモン」プロジェクトを実施しています。このプロジェクトに取り組む事業者を支援し、商品を開発することで、港区オリジナルの「ここにしかないもの」を求める来街者の消費行動につなげ、地域経済が活性化していくことをめざしています。</p>
11	<p>朝潮橋、港晴、八幡屋商店街、スポーツ会館(水泳他)、大手スーパーないか？ 九条商店街の如く見習ってはどうか？特に八幡屋商店街天保山をのみの感がする。</p>	全体会	<p>みなトクモンにも認定されている繁栄商店街の毎月第1土曜日開催の「繁栄わいわい市場」や八幡屋商店街の「ヤハタヤバル」などにみなトクモン認定店や商店街以外の飲食店やワークショップ等の多様な出店があり、地域や学校と連携したイベントもあわせて開催されています。多様な連携の機会となるよう、助成金制度等の情報提供や広報支援を行い、新たな担い手の発掘とまちの活性化をめざしています。</p>
12	<p>子どもの学力と体力の向上また少子高齢化や核家族が進む中、地域活動の担い手が高齢化 評価の仕方や受験の方法ばかりいじって実際にかかわることをおろそかにしないこと</p>	こども青少年部会	<p>子どもたちの学力・体力の向上は、学校だけでなく、社会全体で取り組みを進めていく必要があると考えています。</p> <p>特に学力・体力と関連の高い基本的な生活・学習習慣づくりは、家庭・地域の取組みが重要で、区として「港区版の家庭学習の手引き」を作成しその活用を図るなど取り組みを行っています。</p> <p>また、港区では、区内の企業や海遊館などと連携して子どもたちに様々な体験を提供する、多文化カフェ、スケート教室、海遊館生物教室、WORKS探検団、子どもサイエンスカフェ、絵本ひろばなどを実施しています。</p>

番号	意見内容	担当部会等	港区の考え方
13	<p>港区PTA協議会の取組みの一つとして、毎年、高校進学説明会を実施しており、今年度も9月3日(土)10:00～港区民センターにおいて開催しました。</p> <p>ブース形式の相談会場と、プレゼン形式の説明会場で、計32校の公立、私立の高校の参加をいただき、区内の中学3年生とその保護者を中心に多数の来場もいただき、公立中学校3年生にとって人生の大きな選択の参考となる意義あるイベントとなっています。</p> <p>一方で、その運営は区内5中学のPTAと先生方に大きく担っていただいている状況で、負担も大きく、今後区Pとしての関わりも検討していかなければならないと考えています。</p> <p>市内のすべての区で実施とはなっていませんが、実施している区では、PTAだけではなく、区役所も大きくかわりを持っている区もありますので、港区においてもぜひとも区役所に参画いただければと願っています。</p>	こども青少年部会	<p>高校進路説明会について、区PTA協議会、中学校と協議を行い、区役所としてどのようなかわりができるかについて検討します。</p>
14	<p>「大阪市地域福祉推進指針」のもと地域福祉を推進するための仕組みや方針を示すものとし、平成25年度から27年度までの3年間の計画として平成25年3月に策定。</p> <p>すべての区民、団体、事業者、行政機関等が、一層協力して地域福祉を支える基盤づくりをしっかりと行う、地域福祉を推進する団体である市社会福祉協議会が市民、民間団体等の参画と協働を進めるために策定した「地域福祉活動計画」と理念、方向性を共有し、車の両輪となって地域福祉を推進するものです。</p>	福祉部会	<p>大阪市港区地域福祉計画は、「大阪市地域福祉推進指針」のもと地域福祉を推進するための仕組みや方針を示すものとして、港区の実態を踏まえて平成25年3月に策定し、平成28年7月に改定しました。</p> <p>大阪市社会福祉協議会が策定した「地域福祉活動計画」と車の両輪となって地域福祉を推進します。</p>
15	<p>防災について</p> <p>海拔の低い港区に対して意識向上を高める活動が無いように感じます。</p> <p>例えば西区などでは協力していただいている人の集まりやすいビルなどの建物に動物のイラスト付きで海拔を示していたりします。もしも取り組んでいるなら不足気味だと思います。たとえば各学校の門にも表記しておくなどが、良いかなと考えます。訓練も大事ですが、それ以前に意識することも大事なのではと思います。</p>	防災・防犯部会	<p>港区では、区民の皆さんに海拔を意識いただくように区内63箇所に設置している区役所の広報板に海拔の表示を行い、広報紙や防災学習会においても津波に対する知識や避難方法について繰り返し啓発しているところです。</p> <p>今回のご意見を踏まえ、まずは災害時避難所に指定されている小学校、中学校および高等学校の正面玄関等への海拔表示に取組みます。</p> <p>なお、港区内の海拔は最高は+1.7m、最低は-1.8mで、高低差は3.5mです(市の地図情報サイト「マップナビおおさか」により確認)。港区内では、想定される南海トラフ巨大地震による津波の高さは最大3.6mであり、耐震性のある建物の3階以上(5.5m以上)への避難が必要です。</p>

番号	意見内容	担当部会等	港区の考え方
16	避難場所を決めている人 27年度62%。防災意識の普及と啓発は今後の課題の1つ。目標80%	防災・防犯部会	<p>港区まちづくりビジョンでは、津波による死者は一人も出さないための取組をめざし、「自分の避難場所を決めている」と回答した区民の割合を平成31年度までに80%以上とすることを目標に掲げています。平成27年度は59.4%（平成26年度は62.9%）に止まっており、更なる啓発や働きかけが必要と認識しています。</p> <p>そこで、平成28年度の各地域での防災学習会において、直下型地震と海溝型地震の違いを明確にしたうえで、町会単位での避難場所について、地域を越えた避難も含めて確認していただいています。</p> <p>今後は、平成26年度に全小学校区で策定いただいた地域防災計画に、班単位や町会単位の避難場所を盛り込んでいただくなど、「誰がどこに避けるのか」を明確に定めていくよう働きかけます。</p>